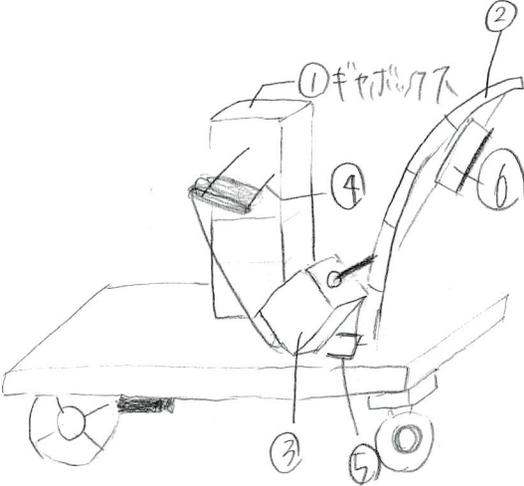


この作品はクリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンスの下に提供されています。

ROBOCON REPORT 2021 by Young Maker

学校名	埼玉大学教育学部附属中学校		
(ふりがな) チーム名	(だしゅん) DASHIN		
ロボコンルール (名称とURL)	名 : 新型コロナ撲滅オペレーション https://sites.google.com/view/digitalclassroom-technology/%E5%AD%A6%E7%BF%92%E8%B3%87%E6%96%99%E9%9B%86/%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC%E5%A4%89%E6%8F%9B%E3%81%AE%E6%8A%80%E8%A1%93	都道府県名	埼玉県
製作期間	2020年9月頃から2020年12月頃まで	製作時間	10時間
ロボットに関する写真と図	<p>必ず、ロボットの概要や機構等の特徴がわかる写真や図等を1~4枚で掲載する。</p> <p>写真や図に記号等を書き込み、下の枠「ロボットのアイデア概要」で解説する。</p> 		
ロボットのアイデア概要 【報告書要約】	<p>①のカメラレンズを傾けてもよまきと、②の角度を調整する。そのときに、③の箱があることで、より安定した。②の角度調整が可能になった。⑤のようにケーブルが開くことで、②をコンパクトに収納できるようになった。また、③を付けたことで、カメラレンズの近くには固定してリフトも、②をより収納しやすくなった。</p>		

どのような動きを実現するために、具体的にどのような素材や機構を用いて実現したのか、枠いっぱい解説を書き込む。

	①は基本台座と同じ板に糸を糸をつかちてぬいつけて、ひもが②に固定した。
参考資料 製作上参考にした資料や、参考にした先輩のロボット等の情報についてできるだけ詳しく解説する。	新編 新しい技術・家庭 技術(分野) 未来を創る Technology (東京書籍) P.114~137 (動力伝達(仕組みの利用例、工具の使い方))

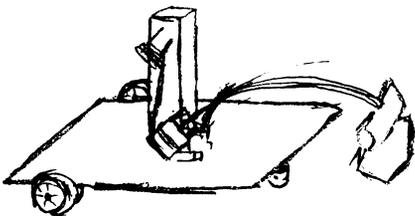
報告書の2枚目以降にさらに詳しく自由フォーマットで記入する。この用紙を入れて11枚以内で報告書を作成すること。

<各商品の工夫>

- ② プラスチックをホットプレートでおたためて曲げることで、テーブルをひまやまいようにしならせた。
- ③ キヤボックスの近くにかためて固定することで、②をうまく収納できるようにした。
- ④ キヤボックスにつながっている棒の他に、もう1本棒をつけ足すことで、はばがたくなや、少ない回転数がより多くのひもが巻ける。
- ⑤ 糸を使うことで、布が板からはみれにくくなった。

全体的に使うパーツをできるだけ少なくする、コンパクトに収納できるようになる
→壊れても修理しやすい、お店に置きたいロボットを作りました!

「改」



- ⑦ まきとるタワ-と支点にたっているギョ-ワス
を同じギョ-ワスのもので使用して統一感を
出した。
- ⑧ モーターとギョ-ワス、なので、他のロボットより
使用電カのコストが下がった!